

2025年6月9日

各 位

株式会社ビューティカダンホールディングス
(コード番号：3041 東証スタンダード)

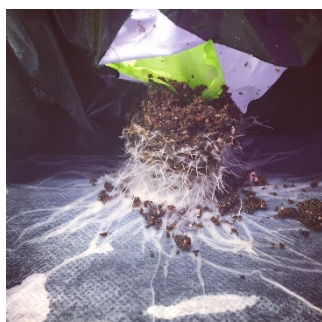
株式会社 Cultivera と業務委託契約を締結

～次世代型農業モデル構築に向けた、科学技術と地域実装の融合～

株式会社ビューティカダンホールディングス(本社：熊本市、代表取締役社長：舩田正一)は、地域資源と先端技術を融合した新たな農業モデルの確立を目指し、沖縄科学技術大学院大学(OIST)が運営するスタートアップ支援施設「OIST Innovation Incubator」に入居するスタートアップ、株式会社 Cultivera との連携による先進的な栽培技術の導入に向けたコンサルタント業務委託契約を締結しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

■最先端農業技術の知を現場に

Cultivera社は、「OIST Innovation Incubator」に拠点を構え、バイオサイエンスと環境制御技術を融合した「モイスカルチャー農法」を開発・展開する農業スタートアップです。同社が展開する主力技術「モイスカルチャー農法」は、湿度環境を積極的に活用した革新的な栽培方式で、超節水・排水ゼロ・省エネルギーといった特長を備えています。気候変動や温暖化の進行により、異常気象の頻発や生産環境の不安定化が深刻化する中、特に高温多湿な日本の気候や連作障害といった課題に対して、環境負荷の少ない持続可能な解決策を提供します。



人工土壌繊維の上部空間に
多量に発生している湿気中根



株式会社 Cultivera
豊永社長

■ 今回の連携の主な内容

- 農業の分野における栽培試験計画の作成及び指導
- 農業用栽培施設・設備に関する指導
- 栽培指導及びノウハウ提供
- データ・成果物の相互提供による実証と最適化

■ 技術と地域の融合で「花と食」の新たな価値創出へ

本件は、当社中期経営計画における「農業分野への戦略的投資」および「地域活性化と SDGs 達成」の一環として位置づけられており、以下のような波及展開を目指します：

- モイスカルチャー農法による菊栽培や周年栽培への応用（花き産業との連動）
- ESG/サステナビリティ視点に基づいた地域農業のモデル構築
- 将来的な南産業やグループ各社とのシナジー形成

■ 契約概要（参考）

- 契約先：株式会社 Cultivera(沖縄県国頭郡恩納村/OIST Innovation Incubator 入居企業)
- 契約内容：農業分野におけるコンサルタント業務（技術指導・戦略助言）
- 契約期間：2025 年 6 月 1 日～2026 年 5 月 31 日（以後、自動延長あり）

今後も当社は、「科学と地域」「花と食」をキーワードに、新しいライフスタイル価値の創出と社会課題の解決に取り組んでまいります。

※株式会社 Cultivera は、OIST Innovation Incubator 入居企業ですが、OIST との共同研究や提携関係にはございません。

＜お問い合わせ先＞

株式会社ビューティカダンホールディングス 広報担当

TEL：096-370-0004

Email：ir-info@beauty-kadan.co.jp

Web サイト：<https://www.beauty-kadan.co.jp>